

業 務 の 名 称	ダブル連結トラックおよび貨物車隊列走行を考慮した道路インフラに関する技術研究開発（令和3年度）
業 務 概 要	<p>本研究は、ダブル連結トラックに係る「①SA/PAにおける駐車場確保」、「②一般道を含めた走行区間の延伸」、「③隊列走行も考慮した連結・解除拠点の配置や規模、機能」について、先進的な実データを用いた定量的分析を加え、道路インフラが備えるべき将来像を提示することを目的とするものである。</p> <p>令和3年度は、ダブル連結トラックを考慮したSA/PA駐車スペースのTDM施策を検討するとともに、長大車両（ダブル連結トラック及びトラック隊列走行）の走行条件の運用方策を分析する。また、ダブル連結トラックの需要量市場分析にもとづく対象路線の延伸方策の検討を行う。さらに、連結・解除スペースの拠点配置と機能に関する分析を行う。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 天野 邦彦 茨城県つくば市旭1番地</p>
契 約 年 月 日	令和3年6月7日
契 約 業 者 名	国立大学法人東京海洋大学
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区港南四丁目5番7号
契 約 金 額（税 込 み）	¥24,882,000
予 定 価 格（税 込 み）	¥24,882,000-
随意契約によることとした理由	<p>本委託研究については、国土交通省道路局により設置された学識経験者等からなる新道路技術会議において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準にもとづき審査された結果、令和2年3月、本研究課題及び委託先（東京海洋大学 兵藤教授を研究代表者とするグループ）が選定されたものであり、令和3年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、令和2年度の審査基準、選定結果及び令和3年3月の中間評価結果等については、国土交通省道路局ホームページ等で詳細に公表されている。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間（自）	令和3年6月8日
履 行 期 間（至）	令和4年3月18日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	